

NPO法人「空援隊」事務局長 倉田宇山様

日ごろは弊社の報道活動にご理解とご協力をいただき大変ありがとうございます。朝日新聞マニラ支局長の四倉幹木（よつくら・もとき）と申します。

貴法人が厚生労働省から受託されておられますフィリピンでの戦没者遺骨収集事業について、下記の通りお尋ねいたしたくお願い申し上げます。

1. これまでの貴法人の遺骨収集事業受託実績についてお教え下さい。貴法人ウェブサイトご記載のご実績が、それぞれフィリピンのどの地域での収集活動であったかが分かれば幸いです。また、貴法人がこれまでに収集され、日本にご送還されたご遺骨の総計を確認させていただければ幸いです。

2. 当該法人への委託事業で、収集された遺骨が日本人戦没者のものであるということを、どのように確認されているか、できるだけ具体的にお教え下さい。

3. フィリピンのミンドロ島×××××町住民の話では、今年に入り、貴法人の×××××氏とともに、貴法人の名刺を所持された×××××氏がミンドロ島で遺骨収集活動に従事されたということです。×××××氏は貴法人に所属する方、あるいは貴法人の遺骨収集に関わりのあった方で、お間違いないでしょうか。

4. フィリピン国立博物館によると、空援隊が収集した遺骨の中に、同博物館学芸員がフィリピン人住民の遺骨と判断したものがあり、学芸員は貴法人に対し遺骨の計数から除外を求めたということです。同博物館は、これらの遺骨は現在も貴法人が保管されているが、貴法人の責任において住民に返還されるべきものと考えているとのこと。これらの遺骨はどうされましたか。

5. フィリピンでの日本人戦没者遺族や生還者の一部、またフィリピンのルソン島イフガオ州、ミンドロ島東部の住民などから、貴法人がフィリピン人の遺骨を誤って収集したのではないか、という疑念が寄せられているのはご承知の通りと思います。

弊社は中立、公正な報道を心がける立場から、これらに対し貴法人のご意見、ご反論などもきちんとご紹介したいと思っておりますので、お考えをいただければ幸いです。

以上です。ご多忙の所、急なお願いで恐縮ですが、よろしくご検討のうえ、できますれば9月28日にお答えをいただければ幸いです。

2010年9月27日

四倉 幹木 拝

朝日新聞マニラ支局

The Asahi Shimbun Manila Bureau